

## 令和7年度 鹿児島歯科学院専門学校 学校関係者評価委員会報告

### 1 学校関係者評価委員会 評価委員（4名）

- ・ 田松 裕一 氏（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科解剖法歯学分野教授）
- ・ 田中 卓男 氏（鹿児島大学歯学部名誉教授）
- ・ 濱田 一郎 氏（鹿児島県歯科用品商組合会長）
- ・ 畠中 和子 氏（鹿児島歯科学院専門学校非常勤講師）

### 2 学校関係者評価委員会 学校側出席者（6名）

- ・ 登 正太郎 校長
- ・ 末永 健市 理事
- ・ 東郷 孝仁 副校長
- ・ 前田 みい子 教頭
- ・ 有村 史朗 教務主任
- ・ 内上堀 達志 専任

### 3 開催期日（場所：鹿児島県歯科医師会館3F 鹿児島歯科学院専門学校 図書室）

- ・ 第1回学校関係者評価委員会：令和7年8月7日（木）
- ・ 第2回学校関係者評価委員会：令和8年2月12日（木）

### 4 会議内容

#### 【資料紹介】（第1回学校関係者評価委員会）

「令和7年度学校案内」、「令和8年度学生募集要項」、  
「令和7年度学校紹介チラシ」、「令和7年度学校要覧」、  
「鹿歯専だより」（第39号）、南日本新聞『若い目特集』  
「強くて優しい母のようになる」、「母とのハイタッチ」：（学生の投稿記事）

#### 【報告】（第1回学校関係者評価委員会）

- ・ 令和6年度歯科衛生士科及び歯科技工士科の国家試験受験結果について
- ・ 令和6年度歯科衛生士科及び歯科技工士科の就職状況について
- ・ 令和6年度学校自己評価結果について
- ・ 令和7年度入学者及び令和7年度学生数と担任・副担任について
- ・ 令和7年度学校行事予定表について

#### 【協議】（第1回学校関係者評価委員会）

※上記資料を紹介説明し、学校の行っている学生募集活動や広報内容等について、学校関係者評価委員との意見交換等を踏まえながら共通理解を深めた。  
続いて、報告事項の説明を行い、国家試験の合格状況や卒業生の就職状況、学校自己評価結果について報告した。また、令和7年度の学生数や校務分掌、年間の学校行事予定等について確認を行った。

**【報告】**（第2回学校関係者評価委員会）

- ・令和7年度の主な行事報告について
- ・令和7年度の両科就職状況について
- ・令和8年度入学生の入学試験受験状況について
- ・令和8年度学校行事予定について

**【協議】**（第2回学校関係者評価委員会 資料下記4項目）

- ・高等学校新卒者の求人・求職・求人倍率の状況
- ・令和7年度体験入学の参加状況
- ・日本学生支援機構奨学金の貸与・給付状況
- ・南日本新聞記事紹介（介護福祉士養成募集停止相次ぐ）

※上記の報告事項や協議資料を基にして、学校側から説明し、それぞれの事項について、学校関係者評価委員と質疑応答及び意見交換を行った。

主な協議内容としては、少子化が進むなかで、高校生の進路希望の多様化や職業選択の傾向等について意見交換を行った。その際、専門学校専門課程への入学者数、都道府県ごとの求人数、求職者数、求人倍率の推移等の具体的なデータを通して話し合ったことは大変有意義であったと考えている。

また、現在の学校の置かれている状況や課題等についての認識が改めて深まり、学校関係者評価委員と校長・理事を始めとする学校側職員との共通理解がより一層深まったと考えている。

5 主な意見等

- ① 学生募集に関して、今年度から歯科医師会の会員である歯科医院にチラシを置いてもらっているが、次年度も会員の協力を仰いでいきたい。
- ② 歯科技工士の中には、国内に加えて海外等から受託を受けて、相当な売り上げを計上し、高い収入を得ている方もおられるという話を聞いたことがある。歯科技工士の職の魅力をPRする際の参考になればと思う。
- ③ 近年の体験入学の参加状況を見ると、やはり体験入学参加者が多い年は、入学者も多い。体験入学でのPR等、その運営内容をいかに魅力的なものにしていくかが大事だと思う。
- ④ AI等、SNSが盛んに活用される時代に入っているが、歯科医療の世界が、完全にAIに取って代わられるものではないと思う。歯科衛生士や歯科技工士の職の魅力を、より一層丁寧に発信していくことが大事だと思う。
- ⑤ 進学か就職か迷っている高校生も経済的面から条件の良い首都圏を中心に就職を選んで行く傾向が強くなっているのではないだろうか。

※ 学校関係者評価委員会での貴重なご意見を今後の学校運営に活かして参りたい。